

## 新卒看護師の臨床研修～進捗とグッドプラクティス～

先月に続き、パイロット各省で臨床研修のモニタリングを行いました。今回がプロジェクト期間最後のモニタリング。今後は、今回集まった各病院のグッドプラクティスを持ち寄り、相互に学びあう機会を設けることで、各病院の困りごとの解決に生かせるよう調整をしていきます。

**ビンディン省：**プロジェクトを運営するための組織横断的なチーム「プロジェクト運営ユニット」が立ち上がりました。同ユニットが承認されたことで省の看護活動予算が確保でき、現在、保健局主催でプリセプター研修が実施されています(計4回、19病院対象、116名受講)。各病院では、10月以降に予定されている新卒看護師の採用を前に、十分なプリセプターが育成され、臨床研修の準備は万全です。

**ディエンビエン省総合病院：**同省では、今年度数年ぶりに看護師の正規採用が実現し、省総合病院にも12名が採用されました。同病院では、採用された新卒看護師だけでなく、省内の私立病院の46名の臨床研修も受け入れています。病院内の異なる組織間(看護部、総合計画部、人事部など)や保健局とが連携することで、戦略的な人材配置などが可能になり、効果的な研修運営につながっています。

**ドンナイ省総合病院：**プロジェクトで開発したガイドラインでは、研修期間中、複数の臨床科をローテーションすることを推奨していますが、多くの病院で、プリセプターの不足、臨床科による評価方法の違いから、運営が難しいとの声が聞かれていました。一方同病院では、新人看護師ごとにメインプリセプターを選び、各臨床科の指導担当者から研修の状況をメインプリセプターに報告しています。これにより適切な評価が実施でき、研修生が80名を超える規模でも効果的な研修が実現しています。

**ビンフック省総合病院：**プロジェクトで作成したコンピテンシーに基づく評価表をそのまま用いるのではなく、自分たちの施設における「到達」レベルの設定を試みています。また、新卒看護師だけでなく経験のある看護師も看護過程を適切に展開できるよう、臨床科ごとに特徴的な疾患別患者アセスメントマニュアルの開発も検討されています。プロジェクトで提供した教材類はあくまでも標準となるミニマムパッケージ。同病院での取り組みのように病院の機能などに併せて改善されていくことが望まれます。



(上・下)ビンディン省で実施されたプリセプター研修



ドンナイ省トンニャット病院での臨床研修



ディエンビエン省総合病院NICUでのOJTの様子



国立バクマイ病院でのモニタリング

### パイロット省の声を取り入れ研修教材の最終版編集作業を行っています。

パイロット各省では、2019年2月の研修教材(第2版)配布以降、同教材を用いた臨床研修を実施してきました。モニタリングでは教材の使用結果に基づき、改善に向けたコメントが出されました。最も多く寄せられたのが、コンピテンシーに基づく評価・アセスメントツールに関する意見です。そこで、新人看護師、プリセプターが評価しやすくなるよう評価指標を選定したり、ユーザーマニュアルを作成したりしています。改訂作業は、コンピテンシーに関する調査結果やベトナムの看護教育や臨床看護の専門家の意見に基づいて実施しています。また、ツールの改定に合わせ、他教材の精緻化も進めています。